

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	安全	26年度事業・施策評価結果		責任者	総務部 危機管理課長	
施策名	防災・危機管理機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	名古屋港港湾機能継続計画(名古屋港BCP)の策定			連絡先	052-654-7813	
				連携課	計画担当、港営課、海務課、工事課	
目的	対象(誰・何を)	名古屋港の港湾機能			事業 期間	平成24~27年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	災害発生時に関係者が連携して的確に対応することにより、早期回復を図ります。				
概要	災害発生時に関係者が連携して的確に対応出来るよう共有しておくべき目標や行動、協力体制等を取りまとめ、整理・明確化するため同計画を策定します。			根拠 法令等		
27年度の実施予定	名古屋港BCPを策定します。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				関連 シート		

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	国及び本組合をはじめとする関係行政機関、関係業界団体等で構成する「名古屋港BCP協議会」においてとりまとめを行い、平成27年6月に名古屋港BCPを策定・公表しました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	5,346	0	1,782	
人件費	千円	8,760	8,809	8,919	8,829	
合計	千円	8,760	14,155	8,919	10,611	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	最終目標	27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
名古屋港BCP策定 までの進捗状況 (全3工程) (進行管理型)	目標	1	2	3	3(累計)	3	名古屋港BCPの策定状況(工程) ①緊急物資輸送に係る行動計画の素案の作成②名古屋港BCP[緊急物資・通常貨物]の 取りまとめ③名古屋港BCPの策定	
	実績	1	2	3				
	事業進捗状況(27年度)			順調・ やや遅れ ・ 遅れ				
	目標							
	実績							
事業進捗状況(27年度)								
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)		目標年度までに、名古屋港BCPを策定しました。						
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/>	名古屋港の社会的・経済的な役割の大きさを鑑み、大規模災害発生後においては、関係者と連携し港湾機能の早期回復を図る必要があるため、本組合として必要性の高い事業です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/>	平成27年度に名古屋港BCPを策定し、目標を達成しました。					
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>						
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	適切な人員で対応し、最小のコストで成果を上げました。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			平成27年6月、災害発生時に関係者が連携して的確に対応できるように、共有しておく目標や行動、協力体制などを取りまとめ、整理・明確化した名古屋港BCPを策定・公表しました。
課題		28年度以降の取組	
名古屋港BCPで掲げる港湾機能の回復目標の達成に向けて、実効性を高めていく必要があります。		国及び本組合を始めとする関係行政機関、関係業界団体などで構成する名古屋港BCP協議会の構成員と協働し、ボトルネックを解消するための事前対策の推進や訓練を実施するなど、実効性を高めていきます。	